

統一書名典拠レコード作成にあたっての「日本古典籍総合目録データベース」との調整手順

平成 23 年 12 月公開

統一書名典拠レコードの作成（修正）にあたって、日本古典籍総合目録データベースの著作レコードについて、その内容に疑義がある場合は、以下のとおり、国文学研究資料館あてに連絡してください。

（以下、日本古典籍総合目録データベースとの異同を発見した参加館を「発見館」とします。）

1) 発見館は、NACSIS-CAT の統一書名典拠レコードを作成（修正）します。

HDNG→疑義がある点は、訂正の上、記述します。

日本古典籍総合目録データベースの著作 ID は、KOTEN:****として記述します。

NOTE→「日本古典籍総合目録データベースと異同があるため調整中」と記述します。

2) 発見館は、国文学研究資料館の担当部署に、手元の資料と日本古典籍総合目録データベースの内容に異同がある旨の連絡を行います。

連絡の際に必要な項目は、以下のとおりです。

- ・作成した統一書名典拠レコードの ID
- ・日本古典籍総合目録データベースの著作 ID（WID）および統一書名
- ・異同があると思われる内容
- ・根拠/情報源（メールの PDF/画像ファイル添付もしくは別途 FAX 送付）

連絡先：国文学研究資料館 学術情報課 マイクロ資料目録係

E-Mail：qa-koten[at]nijl.ac.jp [at]を@に変えてください。

FAX：042-526-8606

※原則として、E-Mail で連絡。

3) 国文学研究資料館で、内容の確認および参考資料等の調査を行い、日本古典籍総合目録データベースの修正を行うか否かを決定します。

修正を行う場合には、その結果が公開されるまでに早くても 3 か月程度かかりますのでご注意ください。

修正を行うか否かについては、決定次第、国文学研究資料館から、発見館に連絡があり

ます。

4) 国文学研究資料館からの連絡後、発見館は、NACSIS-CAT の統一書名典拠レコードの修正を行います。

- ① 調整の結果、日本古典籍総合目録データベースが修正された場合
発見館は、NACSIS-CAT の統一書名典拠レコードの NOTE から「日本古典籍総合目録データベースと異同があるため調整中」の記述を削除します。
- ② 調整の結果、日本古典籍総合目録データベースは現状維持となった場合
発見館が判断の上、以下の a) b) いずれかの作業を行います。
 - a) NACSIS-CAT の統一書名典拠レコードから、HDNG に記述した日本古典籍総合目録データベースの著作 ID (KOTEN:****) および NOTE の「日本古典籍総合目録データベースと異同があるため調整中」の記述を削除します。
 - b) NACSIS-CAT の統一書名典拠レコードを、日本古典籍総合目録データベースに合わせた形に修正します。また、NOTE の「日本古典籍総合目録データベースと異同があるため調整中」の記述を削除します。

また、必要に応じて、調整の結果採用されなかった形や訂正前の形を、SF フィールドや NOTE フィールドに記録してください。

なお、日本古典籍総合目録データベースの著作レコードに疑義の可能性があるが、同定しがたい場合は、発見館は HDNG に KOTEN ID は記述せずに統一書名典拠レコードを作成（修正）してください。この場合、国文学研究資料館に連絡する必要はありません。